

D.性能の客観的証明

- 株式会社 アクロエッジは、精密部品等における接着剤の硬化状況を連続的に測定する装置を開発。
- パートナー機関である池田泉州銀行より標準化の紹介を受け、硬化状況の連続測定方法の標準化。
- 本装置の性能が客観的に証明され、信頼性が向上し、取引先が拡大した。

規格作成にあたっての期待・動機

部品の接着精度や接着剤の開発環境向上のため、硬化時の挙動の連続的な分析に関する評価環境を整えたい。

規格の概要(機能を評価するための試験方法)

接着剤の硬化状況を連続的に測定する方法を定める。

効果

精密機器製造メーカー等や自動車部品メーカー等との取引が拡大した。

製品売上推移：2017年(JIS作成前)から2019年(JIS化後)で2倍に増加。

受託測定推移：2017年(JIS作成前)から2019年(JIS化後)で14倍に増加。

今後の展開

製品の海外展開環境を整えるため、国際標準化を推進中(国際標準化提案承認済。)



← 測定器本体

↑ タッチパネル制御装置

